

三重県立津商業高等学校 1年 杉崎 可蓮 「まずは知ること」

私は三重県民である。三重県の特産のものや名物となる食べ物、観光地となっている場所などある程度知っていると思っていた。だがそれは間違いだと気付かされた。この作文を書くことになって改めて三重県について調べて見た。すると知らない景色、食べたことのない食べ物やスイーツの写真や動画が出てきた。私は何も知らなかったんだと思い知らされた。1枚の写真が出てきたとき私は少し高揚した。その写真は志摩市の横山展望台だった。ここは私が小学校のときに修学旅行で行ったところだった。その日は快晴でとても景色が綺麗で長い間歩いたけど、歩くのは大変だけどそれ以上に価値のある景色だと思った。そんなふうに思い出に浸っていると、時々知っている場所や行ったことがある場所、食べたことのあるスイーツの写真も出てきて楽しくなっていた。やっぱり自分が知っている場所の写真とかが出ると嬉しい。だがそれ以上に知らない場所を見ると、実際はどんな場所なのか、写真と同じならどれだけ美しいのかと私の心をワクワクさせた。三重県について調べてみて、もっと行ったことのないところに行って景色を見て美味しいものを食べて見たいと思った。私を高揚させる場所へ、ものを余すことなく知りたい。行ったことがある場所も、新しい発見ができるのではと考えもう一度訪れて見たい。私はまだ三重県についてそんなに知らない。これからもっと知って行きたいと思う。未来の三重県民には、三重県について知ろうとしてほしい。知ってほしい。知ろうと思わなければ知らないであろう場所やものがたくさんある。私がそうだったように。少しでも興味のあることは調べて見てほしいと思う。思い出が増えると話が楽しいし、消えることのない宝物になる。新たな自分や人との出会いが待っているかもしれない。最後に私は三重県民でだし、三重県民で良かったと思う。未来の三重県民もそう思えるといいなと思う。